

評価シート 様式

取組名	こらっしえ稲取大作戦！ローカルエリアプロモーション事業のビジネスモデル確立		
実施団体名	稲取温泉観光合同会社	対象地域	静岡県東伊豆町
(代表団体名)	—	推薦団体名	東伊豆町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	こらっしえ稲取大作戦！ローカルエリアプロモーション事業のビジネスモデル確立		
実施団体名	稲取温泉観光合同会社	対象地域	静岡県東伊豆町
(代表団体名)	—	推薦団体名	東伊豆町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	本取組は、観光を本業としない地域住民が、企画から実施までの全てに自ら熱意を持って観光振興に取り組んでおり、先導性・モデル性が高く評価される。また、様々な地域資源を発掘して多角的なアプローチで活用に取り組んでおり、複合性も高い。さらに、地元農産・水産品を観光客呼び込みに活用することで、様々な分野の地域の産業への相乗効果・波及効果が見込まれるものである。
	○ 評価
	■ ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	□ 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
□ ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	地域住民が熱意を持って取り組み、関係者の意識改革を通して一丸となって取り組む体制を構築できたとともに、今年度設定した目標を大きく上回っており、地域の活性化に大きく寄与する取組として評価できる。また本事業は、全体を取りまとめているリーダーが地域住民の意欲を引き出しており、目標以上の成果を達成する原動力になっているが、一方で個人の力量に依存せず、継続的に人材を育成することで体制を確固としたものにしようとしているなど、長期的な視点も持っている点も評価できる。
	本年度の成果を踏まえると、地方の元気再生事業を継続することにより本格展開が期待できるだけでなく、他地域に対する先進的モデルとしての役割を果たし得るものとしても期待できる。 なお、次年度の個々のいずれの取組も、本年度事業の成果をベースとした発展的な内容であり、地方の元気再生事業の継続の趣旨に沿うものであるとともに、平成22年度以降は継続して自立的な取組が行われるものと期待される。